

本の森からこんにちは



まだまだ暑いですが、夏休みが終わり、前期の後半がスタートしました。
オリンピックでは、たくさんの日本選手がメダルを獲得し、テレビを見ながらみなさんも興奮したのではないのでしょうか？10代の選手の活躍にも目を見張りました。次はみなさんの時代ですね。まだ、パラリンピックが開催されています。暑いエールを送りましょう！



パラリンピックってなに？

パラリンピックは、4年に一度おこなわれる、スポーツを文化、教育に融合させ、生き方の創造を探求するものとした平和の祭典オリンピックと同じ年に同じ都市で開催される、障がい者による世界最高峰のスポーツ大会。その名前には「もうひとつの (Parallel) オリンピック (Olympic)」という意味が込められている。

1948年にイギリスのストーク・マンデビル病院でルートヴィッヒ・グットマン卿が開催した16人の車いす患者によるアーチェリー大会がパラリンピックの起源である。「失われたものを数えるな、残された機能を最大限に活かせ。」というグットマン卿の言葉は大会理念として今も受け継がれている。障がいをもっていても、スポーツを通じて前向きに挑戦を続ける選手たちの晴れ舞台—それが、パラリンピックだ。



『写真で見るオリンピック大百科別巻 舛本直文監修 ポプラ社 より』



スイカくじについて

図書委員会で抽選をして、当選番号を発表します。もうしばらく持っていてね。





ほん あたらしい本がはいりました

『いろいろなからだのほん』 メアリ・ホフマン ぶん ロス・アスキス え
すぎもとえみ やく (少年写真新聞社)



からだって、なんだろう？
からだがなくでは いきれないし、からだがないとなん
にもできない。 でも、それだけかな？
かんがえや ゆめや ねがいは、からだのどこに あるん
だろう？ (ほんぶん
本文より)

『きみは どこからやってきた？ 宇宙誕生からはじまる いのちのものがたり』
フィリップ・バンディング：作 ないとうふみこ：訳 北山大樹：監修 (角川書店)

ぼくたちはどこからきて、どこへいくのか…わからない
ことが、たくさんある。でも、ひとつだけはっきりしてい
ることがあるよ。人間のふるさとにんげんとは、この地球ちきゅうだけだって
いうこと。だから、みんなでたいせつにしなくちゃね。
(作者あとがき より)



『Red あかくてあおいクレヨンのはなし』
マイケル・ホール：作 上田勢子：訳 (子どもの未来社)

レッドは赤あかいクレヨンです。でも、赤あかくぬるのが、とくい
ではありません。みんなそろって手て伝だっても、レッドが、ど
んなにがんばっても、やっぱりうまくいきませんでした。

レッドは赤あかいラベルをまかれた青あおいクレヨンだったのです。



ねが
お願い なつやす か だ ほん かえ ひと はや
夏休みの貸し出しでかりた本をまだ返していない人、できるだけ早く

かえ
返してください！

